



# 志津南 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (1/6 現在)  
世帯数 2,211 総人口 6,172 人

発行  
志津南学区まちづくり協議会  
(連絡先) 077-507-6496

## 子ども会連合会が解散

### 協働合校と協力し全体活動に

子ども会連合会(加藤恵子会長)は今年度末で解散し、まちづくり協議会を脱会することになりました。子ども会連合会は平成26年度に志津南学区まちづくり協議会となったときに発足、まちづくり協議会を構成する団体として、子ども育成グループ5団体のひとつに位置づけられています(組織図参照)。

子ども会連合会を構成する単位子ども会は、若草・岡本西子ども会とかがやきの丘子ども会の二つで、追分町内会は組ごとに子ども会があるものの連合会には加入しておらず、コージーガーデン自治会と追分鴨田町内会には子ども会がありません。

まちづくり協議会の構成団体は本来、学区全体に及ぶ活動をすべきですが、現状は若草・岡本西地区とかがやきの丘町内会の子どものみを対象となっています。

一方で、同じ子ども育成グループに地域協働合校推進委員会があり、志津南小

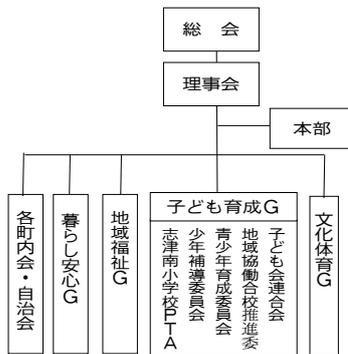
学校の児童だけでなく、附属小学校や私立の小学校に通っている児童も含め、志津南学区内の全児童を対象としています。

昨年11月14日に開催された子ども会連合会の臨時総

会において、小地域の子どもを対象とする単位子ども会は残したまま、学区全体の活動は地域協働合校推進委員会の活動に協力するということで、子ども会連合会は解散することが賛成多数で承認されました。

また、同年12月16日の地域協働合校推進委員会臨時会議では、平成28年度から若草・岡本西子ども会とかがやきの丘子ども会から委員として加わることが決定され、追分南子ども会やコージーガーデン自治会・追分鴨田町内会にも委員を依頼することになりました。

子ども会連合会の解散に伴う脱会については、まちづくり協議会は1月9日の理事会で全員賛成で承認し



## 左義長、大にぎわい



志津南学区まちづくり協議会のふれあい推進委員会(藤本佳博委員長)は1月11日、毎年恒例の左義長まつりを若草中央児童遊園で開催しました=写真。

昨年と違って今年は日差しの中、約200人が参加、大変にぎやかな左義長となりました。

会場では昨年同様、ボランティア泉のみなさんによるあったかい「ぜんざい」、子ども会のみなさんによる「ホット・カルピス」のサービスがあり、身体の中からも暖まることができました。ぜんざいは大好評で、左義長が終わる前になくなってしまいました。

ふれあい委員会の山本和男事務局長を中心に、各町内会の会長、副会長、事務局のみなさんのご協力ですムーズな準備と開催ができました。

ありがとうございました。

(ふれあい委員会 藤本)

この結果、地域協働合校推進委員会に単位子ども会が加わることで「まちづくり行動計画」に掲げている

「子ども会連合会と地域協働合校推進委員会を統合した仕組みによる活動」の実現に向けての一步を踏み出すことになりました。

### 町内会総会日程

- ▽若草一丁目 日時 4月3日(日) 10時から
- ※若草第一集会所
- ▽若草二丁目 日時 3月27日(日) 9時30分から
- ▽若草三丁目 日時 3月21日(祝) 9時30分から
- ▽若草四丁目 日時 3月26日(土) 9時30分から
- ▽若草五丁目 日時 3月20日(日) 10時から
- ▽若草六丁目 日時 3月26日(土) 11時から
- ▽若草七丁目 日時 3月21日(祝) 12時30分から
- ▽若草八丁目 日時 3月21日(祝) 14時から
- ▽岡本町西 日時 3月19日(土) 18時から
- (以上、市民センター)
- ▽かがやきの丘 日時 4月17日(日) 10時から
- (きらり会館)
- ▽コージーガーデン 日時 4月3日(日) 10時から
- (自治会館)
- ▽追分南 日時 3月27日(日) 19時から
- (追分南会館)
- ※追分鴨田は開催済み
- .....
- ▽まちづくり協議会 日時 4月24日(日) 10時から(市民センター)

### 税の申告相談会

草津市・滋賀県民税の申告、所得税の申告(確定申告)などの申告相談を3月

7日(月)志津南市民センターで行います。相談時間は午後1時から同3時30分です。詳しくは「広報ささぎ」2月1日号をご覧ください。

# 災害備蓄庫を見学

若草・岡本西地区自主防  
災連合会(山元正道会長)  
は1月16日、志津南小学校  
に設置されている草津市災

害時備蓄庫を見学しました。  
見学会には各町内会長が  
参加、草津市危機管理課の  
職員から備蓄品の内容と地



震等災害時  
の市の態勢  
等について  
説明を受け  
ました。  
草津市で  
は4つの小  
学校を前線  
基地に指定、  
震度5弱の  
地震発生時  
には指定さ  
れた職員が  
集合するこ  
とになって  
おり、その

他9つの小学校にサテライト  
備蓄庫が設置されている  
ということです。  
そのうちの1つが志津南  
小学校のサテライト備蓄庫  
で、被災者救助のための道  
工具や、避難してきた人た  
ちのために当面必要なもの  
が備蓄されており、食料も  
2500食が備蓄されていま  
した。

説明によると、災害発生  
から1日目は市、2日目は  
県、3日目からは民間等の  
災害協定を結んでいるところ  
からの支援を予定してい  
るといふことで、国からの  
支援は交通網の遮断等で期  
待できないといふことです。  
3日目を降からの分につい  
ては、各戸、また各町でも  
備蓄をしておく必要がある

ということですが、  
最近、東南海・南海地震  
のことが話題に上がってい  
ますが、これに備えて今後、

## ゴミ分別にご注意!



CA TV放送で未回収  
ミのお知らせをよく耳にし  
ますが、未回収の原因のひ  
とは平成23年10月1日に  
一部変更されたごみの分別  
区分にあります。そこで住  
民のみなさんには分別区分  
を今一度確認していただき  
未回収ごみの解消にご協力  
をお願いします。  
収集されない主な理由は次  
の3点にあるようです。

1. 変更前のままの分別区分になっている。
2. 使用しているごみ袋が中身と異なっている。
3. 当日の収集ごみと異なる種類のごみが出されている。

①変更前の「プラスチック類」は変更後「焼却ごみ類」「破砕ごみ類」「プラスチック」

②変更前の「普通ごみ類」は「焼却ごみ類」とリサイクルできる「古紙類」に分けられました。さらに「古紙類」は「新聞・広告」「雑誌・雑紙」「段ボール」の3種類に分けられ、収集日がそれぞれ異なっているので

町内会でも災害備蓄について真剣に考えていく必要性がありそうです。

ク製容器類」の3種類に分類されました。硬質プラスチック製品(ばけつ、洗面器など)は「破砕ごみ類」に分類されます。それ以外は「焼却ごみ類」に分類されるのですが、「フタマーク」が付いていて汚れないものはリサイクルできるため「プラスチック製容器類」として出すこととなります。

## 町並み保存委員会から

### ◇サンルーム

お母さん 歳をとると寒さが身にしみますね。  
お父さん そうだね。前から考えていたんだが、冬を暖かく過ごすためにサンルームを作ったらどうかと思っただがね。  
お母さん それはいいかも



るんではないですか。  
でも、若草地区では地区計画が定められていて、サンルームを作るのに許可が要

お父さん それじゃ、念のため副会長(町並み保存委員)さんに聞いてみるよ。  
副会長(町並み保存委員) ご存知のように、若草地区では、地区計画が定められています。  
お尋ねのサンルームですが、部屋としての要素があり面積が発生し、建ぺい率や容積率が変わってきますので、基準に合っているかどうかの確認が必要になることから、届出を出していただく

ことになります。  
若草地区町並み保存規則では、「許可」ではなく、あくまでも「届出」になります。事前にご相談いただき、ありがとうございます。  
これからも若草の素敵な町並みを守っていきましょう。  
お父さん わかりました。早速届けを出します。

条文「若草地区町並み保存規則 補足説明図」その2の7による。

## もちつき大会



志津南学区地域協働合校  
推進委員会(斎藤充浩委員  
長)は1月23日、志津南市  
民センターで「もちつき大

会」を開催しました。写真。恒例事業のもちつきは参加者も多く、子どもたちの健やかな成長を見守り育てる大勢の大人たちと世代を超えて交流・協力して共に活動する理念を実現する絶好の機会になっています。今回も小学生105人と大人58人が参加しました。

この日はまず、子どもたちが威勢よくもちをつき上げました。二日目からは子どもが自分たちで順番に、掛け声に合わせながら頑張ってもちをつきました。

その後、お餅をちぎって丸め、きな粉・あん・大根おろしなどをつけて食べました。また、温かい具沢山の豚汁も添えられました。子どもたちからは「つきたてのおもちは柔らかくておいしい」「豚汁は暖かくてとてもおいしい。もっとお代わりがほしい」などの声が聞かれ、どの顔も笑顔で満足そうでした。

前の週には雪が降り、この日も天候が心配されましたが、当日は少し寒かったものの日差しに恵まれ、楽しい一日になりました。

### 趣味悠々

工芸 (陶器)

「辰砂彩燕壺」 高さ24センチ 幅24センチ  
 「鉄釉彩菓器」 高さ16センチ 幅17センチ  
 制作 中野 豊彦 (85歳) =若草2丁目  
 制作歴 約11年



つるし

老惨への挑戦！  
 信楽焼、成形、施釉、焼成等のスキルアップ！

## 歌とともに人権の心学ぶ



志津南学区人権教育推進委員会と志津南市民センター(公民館)共催の「人権トーク報告研修会」が1月30日、同センターで開催され、69人が参加しました。

人権講座では、草津市の「人権ユニティラジオ」から生まれた山崎さんさんと菅野ららさん二人の音楽ユニットGIN LALAさんを講師に迎え「コウちゃん」が教えてくれた

たし写真。

人権トーク報告研修会では、10月17日～11月28日にかけて各町内会の人権まちづくりトークが行われ、延べ214人が参加したと報告がありました。

## 交通安全講習会



こと」と題して講演会を開催しました。

菅野さんは先天性小児脳性麻痺という生まれつき運動機能などに障がいのある子ども、コウちゃんにピアノを教えた体験を歌を交えながら話しました。

1年生の頃は、いすに一人ですわることもままならず、指を一本ずつ動かすことも困難でした。よだれでピアノが濡れてしまうのを当初は汚いと感じてしまったことも正直に語られました。

「コウちゃんの頑張りとお熱心な指導により、発表会で

は両手でピアノを弾けるまでになり、「この子はこまで」と線引きしてしまっただけではないと感じました。

参加者は「歌も心にしみました。お話も体験を通しての話だったのでわかりやすかった」と感想をもらっていました。

また、草津・栗東交通安全協会志津南支部女性部からもペン型フライトが贈られ、学級生は改めて日常の交通安全の大切さを認識しました。

志津南やすらぎ学級第8回講座「交通安全講習会」が1月27日、志津南市民センターで行われ、学級生36人が参加しましたし写真。

最初に草津・栗東交通安全協会志津南支部長の佐々木奉昭さんが最近急増している高齢者の交通事故について「高齢者からは『夜は出歩かないから大丈夫』と

このあと、基本的な自転車走行ルールやどんな所に危険が潜んでいるのかについて、草津市役所交通政策課「わかばチーム」が腹話術人形の「けんちゃん」と高齢者役の「カレンちゃん」との愉快な掛け合いで、シミュレーション動画を使いながら解説しました。

夜間は反射板を身につけることで100メートル先から存在が確認できることなどが

志津南学区青少年育成委員会(室谷和典委員長)はこのほど、平成25年度から順次設置しているあいさつ運動を啓発する看板を新たに志津南学区町内会加入となった追分南町内会にも設置しました。



## 追分南にあいさつ啓発看板

内容は今年度のあいさつ啓発作品の最優秀、優秀作品の中から6枚を選び、追分南町内会館やロクハ公園スポーツ広場、追分丸尾第二児童遊園の3か所に2枚ずつ設置し、あいさつ運動の啓発に努めました。

# なごみ会が3周年イベント



かがやきの丘「なごみ会」(山添隆夫会長)は1月21日、発足3周年記念のイベント

をかがやきの丘町内会館で開催、20人余りが参加しました。写真。寒さも音楽には関係なく、ウクレレの爽快なアンサンブルで、アロハオエ、ブルーシャトーなど、懐かしいメ

## こよみ

- 2月20日(土)
  - ☆社会奉仕
  - 8:30 若草中央公園集合
- 2月23日(火)
  - ★地域サロン：懐メロを歌う会
  - 10:00～11:30
- 2月24日(水)
  - ★やすらぎ学級 講座(公開)
  - 13:30～15:00
- 2月27日(土)
  - ☆健康ウォーキング(若寿会)
  - 8:45 若草中央公園集合
- 3月4日(金)
  - ★ふれあい昼食会
  - 12:00～13:00
  - ボランティア「泉」
- 3月8日(火)
  - ★地域サロン：懐メロを歌う会
  - 10:00～11:30
- 3月9日(水)
  - ☆やすらぎ学級閉講式
  - 9:15～16:40

□毎週金曜日  
 ☆ふれあい喫茶(お茶の間)  
 10:00～12:00  
 若草第五丁目集会所

★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

## 地域福祉セミナー開く



志津南学区社会福祉協議会(小野栄祐会長)は学区

内住民を対象に1月24日、31日の2日間、志津南市民センターで「地域福祉セミナー」を開催しました。写真。地域福祉活動の土壌づくりを進めるとともに、地域福祉活動のより一層の活性化を図り、安心して暮らせる福祉のまちづくりを考えようというもので、京都ノートルダム女子大学の酒井久美子准教授を講師に迎え

ロティに浸り、続いて珍しい楽器のクロマチックハーモニカでの独奏や合奏など、小さくても多彩な音色全48音階を駆使して見事というほかなく、目をつむればコンサートホールで室内楽を

聞いているような錯覚に陥るほどでした。終わりは慣例の「琵琶湖周航の歌」を皆さんで合唱し満足に満ちた演奏会は無事終わりました。見事な演奏の祭典に会員一同、久しぶりに心に感動を覚えた次第です。

## 速野社協が絆見学

「小地域福祉活動はあいうえお・安心・安全な地域づくりに向けて」をテーマに話を聞きました。セミナーには平成27年度町内会役員、平成28年度町内会役員予定者、福祉委員及び希望者で、両日合計178余人が参加しました。酒井講師のじゃんけんによるクイズや言葉の穴埋めクイズに、参加者の皆さんは積極的に解答、地域福祉に対する理解が深まりスキルアップが図れました。

守山市の速野社協地域福祉推進員の新道信彦さんから関係者27人が1月27日、ふれあいハウス「絆」を視察、地域支えあい活動について研修しました。写真。当日は絆2階で、地域支

えあい活動の拠点「ふれあいハウス」について、ふれあい喫茶での交流状況・高齢者日常支援・多世代交流・



子育て支援等にむけた支えあい活動の取組状況について説明しました。その後、1階でコーヒードリンクを飲みながら懇談、速野社協の方々には「地域特性が異なることはあるものの、『絆』の活動は示唆に富んでおり大変参考になりました。自分たちの地域にもこのような場所がほしい」と話していました。

24日にやすらぎ講座  
 志津南市民センター(公民館)は24日に開催する第9回志津南やすらぎ学級を公開講座として開催します。内容は「狙われる高齢者」と題し、悪質化している「特殊詐欺」について、解説していただきます。  
 日時 平成28年2月24日(水)午後1時30分  
 場所 志津南市民センター 大会議室  
 対象 草津市内在住・在勤の60歳以上の方  
 参加費 無料

## 折々の記



けたたましい音が庭で聞こえた。昨秋の事である。鳥が庭の柿の木を激しく打ち付けていた。キツツキで調べたらコゲラという他所(そ)の人に話したら、どんな山奥に住んでいるのかと言う。

楽しくなった。そういえば、ここ最近ではシジュウカラがよく訪れるようになった。牟礼山で見かけていたが、最近では行かなくなったので、鳥の方から出張し

## 庭先の声

て来てくれているようである。スズメより鋭い鳴き声で、すぐに飛び立つので家の中に入れても分かる。ウグイスもほんの庭先でさえずるのを聞いた。ここに移ってから三十余年、遠くから声を聞いていたが、やっと顔を見せるようになった。

なったりかと思う。でも、木陰に隠れていて実際にはお目にかかれない鳥である。反対に、以前より顔見世が少なく、どうなったかと気にかかる鳥たちもいる。メジロである。おもに二羽以上で行動し、よくヒヨ

ドリに追っかけ回されながらも、左右を見ながら柿の実をつついていた。特に冬場はサザンカの蜜を求めて垣根を飛び交っていた。あの目の回りの白い輪と小さな体でかわいらしい、存在感のある鳥である。そのほか、シヨウビタキも格好良い姿で、再び遭遇したいと思っている。鳥ではないが、コウモリが激減した。虫が少なくなったのだろうか。憎たらしい存在だったが、いなくなるに妙に寂しい…。緑多き町の、目線の先に、目と耳に優しい、小鳥多き町であって欲しいと思うこの頃である。(T・H)